



CHAPTER 3

ホスト名 /FQDN で定義されたサーバの IP アドレスの変更

- 「ホスト名/FQDN で定義したパブリッシャ サーバの IP アドレスの変更」 (P.3-1)
- 「ホスト名/FQDN で定義したサブスクリバ サーバの IP アドレスの変更」 (P.3-4)



注意

特定のホスト名を持つサーバで DRS バックアップを作成した場合は、別のホスト名を持つサーバには復元できません。これは復元先のサーバがパブリッシャ サーバでもサブスクリバ サーバでも同様です。また、そのノードを再インストールしても復元はできません。

ホスト名 /FQDN で定義したパブリッシャ サーバの IP アドレスの変更

ホスト名または FQDN で各サーバを定義している場合に、パブリッシャ サーバの IP アドレスを変更するには、ここに示す手順を使用します。DNS サーバは、ネットワーク インフラストラクチャを構成する要素の 1 つです。IM and Presence サーバは、DNS サービスを実行せず、また実行することもできません。



(注)

この手順を使用して、サブスクリバ ホストのパブリッシャ サーバを別のパブリッシャ サーバに変更することはできません。

はじめる前に

「作業前のチェックリスト」 (P.1-1)

手順

- ステップ 1** 次の操作を実行します。
- a. 新しい IP アドレスを指すようにパブリッシャ サーバの DNS レコードを変更します。
 - b. 必ず順方向 (A) レコードと逆方向 (PTR) レコードの両方を正しく更新します。
- ステップ 2** クラスタにある各サブスクリバ サーバの CLI で次の作業を実行することにより、サブスクリバ サーバごとにパブリッシャ サーバの IP アドレスを変更します。
- a. 次のコマンドを入力します。

```
set network cluster publisher ip new_ip_address
```

- b. **Yes** と入力して Enter キーを押します。

ステップ 3 次の作業を実行して、パブリッシャ サーバの IP アドレスとデフォルトのゲートウェイ（必要な場合）の IP アドレスを新しいアドレスに変更します。

- a. 新しいデフォルト ゲートウェイのアドレスを必要とする別のサブネットにサーバを移動する場合は、CLI コマンド **set network gateway** を入力します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network gateway 10.53.56.1
```

```
WARNING: Changing this setting will invalidate software license
on this server. The license will have to be re-hosted.
```

```
Continue (y/n)?
```

- b. **yes** と入力して Enter キーを押します。

- c. パブリッシャ サーバの IP アドレスを変更するには、CLI コマンド **set network ip eth0 ip_address netmask gateway** を入力します

ip_address はサーバの新しい IP アドレス、*netmask* はサーバの新しいネットワーク マスク、*gateway* はゲートウェイをそれぞれ指定します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network ip eth0 10.53.57.101 255.255.255.224 10.53.57.1
```

```
WARNING: Changing this setting will invalidate software license
on this server. The license will have to be re-hosted.
```

```
Continue (y/n)?
```

- d. **yes** と入力して Enter キーを押します。

ステップ 4 パブリッシャ サーバが自動的に再起動した後、すべてのサブスクリバ サーバを再起動し、データベース関連の設定ファイルを含むローカル名前解決ファイル、およびサービスを更新します。

ステップ 5 CLI コマンドの **utils network host** および **show tech network hosts** を実行し、サブスクリバ ノードのローカル解決が新しい IP アドレスにも解決されることを確認します。

```
admin:utils network host lg-sub-4
Hostname lg-sub-4 resolves to 14.86.13.11
```

```
admin:show tech network hosts
```

```
----- show platform network -----
```

```
/etc/hosts File:
```

```
#This file was generated by the /etc/hosts cluster manager.
```

```
#It is automatically updated as nodes are added, changed, removed from the cluster.
```

```
127.0.0.1 localhost
14.87.10.10 lg-pub-1.lindermangroup.cisco.com lg-pub-1
14.87.10.11 lg-tftp-1.lindermangroup.cisco.com lg-tftp-1
14.87.10.12 lg-tftp-2.lindermangroup.cisco.com lg-tftp-2
14.87.11.10 lg-sub-1.lindermangroup.cisco.com lg-sub-1
14.87.11.11 lg-sub-3.lindermangroup.cisco.com lg-sub-3
14.86.13.10 lg-sub-2.lindermangroup.cisco.com lg-sub-2
14.86.13.11 lg-sub-4.lindermangroup.cisco.com lg-sub-4
14.87.11.12 lg-sub-5.lindermangroup.cisco.com lg-sub-5
14.87.11.13 lg-sub-7.lindermangroup.cisco.com lg-sub-7
14.86.13.12 lg-tftp-3.lindermangroup.cisco.com lg-tftp-3
14.87.20.20 lg-cups1.heroes.com lg-cups1
14.86.13.13 lg-sub-6.lindermangroup.cisco.com lg-sub-6
```

admin:



(注) IM and Presence サーバのゲートウェイおよび IP アドレスの変更に加えて、スイッチを変更した場合は、サーバが自動的に再起動している間に以下の手順を実行します。実行しないと、起動時に IM and Presence スクリプトがネットワーク接続の確認に失敗する可能性があります。

- 再起動画面を確認する
- 古い IP アドレスに `ping -t` と入力する
- ping に失敗するようになったら、古いスイッチから接続を解除し、新しいスイッチに接続する

ステップ 6 パブリッシャ ノードが再起動した後、次の CLI コマンドですべてのサブスクリバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

ステップ 7 すべてのノードが正常に再起動した後、パブリッシャ ノードで次の CLI コマンドを実行して、レプリケーションを確認します。

```
utils dbreplication runtimestate
```



(注) データベースのサイズによっては、レプリケーションの再確立に数分から 1 時間以上の時間を要することがあります。

サンプル出力は次のとおりです。

```
DDB and Replication Services: ALL RUNNING
```

```
DB CLI Status: No other dbreplication CLI is running...
```

```
Cluster Replication State: BROADCAST SYNC Completed on 1 servers at: 2012-09-26-15-18
Last Sync Result: SYNC COMPLETED 257 tables sync'ed out of 257
Sync Errors: NO ERRORS
```

```
DB Version: ccm9_0_1_10000_9000
Number of replicated tables: 257
Repltimeout set to: 300s
```

```
Cluster Detailed View from gwydlvm020105 (2 Servers):
```

SERVER-NAME	IP ADDRESS	PING (msec)	RPC?	REPLICATION STATUS	REPL. QUEUE	DBver& TABLES	REPL. LOOP?	REPLICATION SETUP (RTMT) & details
gwydlvm020105	192.168.20.244	0.038	Yes	Connected	0	match	Yes	(2) PUB Setup Completed
gwydlvm020106	192.168.10.201	0.248	Yes	Connected	128	match	Yes	(2) Setup Completed



(注) すべての REPLICATION SETUP (RTMT) & details で、状態 2 が報告されていることを必ず確認してください。この値が 2 以外になっている場合は、データベースのレプリケーションに何らかの問題があるので、レプリケーションをリセットする必要があります。詳細については、「[レプリケーションのリセット](#)」(P.3-4) を参照してください。



(注) クラスタにある複数のサーバの IP アドレスを変更するには、次の作業を実行します。

- 1 台のサーバの IP アドレスを変更します。
- クラスタをリブートします。
- レプリケーションのステータスを確認します。

変更した IP アドレスが正しく反映されている場合は、次のサーバで同じ手順を実行します。反映されていない場合は、他のサーバの IP アドレスを変更しないでください。

レプリケーションのリセット

レプリケーションが正常に完了しない場合は、次の手順を実行します。

ステップ 1 レプリケーションをリセットするパブリッシャ ノードで次の CLI コマンドを実行します。

```
utils dbreplication reset all
```



(注) このコマンドの実行には最大 15 分かかります。

ステップ 2 `utils dbreplication reset all` コマンドが完了した後、次の CLI コマンドでパブリッシャ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

ステップ 3 パブリッシャ ノードが再起動した後、次の CLI コマンドでクラスタ内のすべてのサブスクリバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

関連トピック

- 『*Disaster Recovery System Guide*』
- 『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』

次の作業

[「変更後の作業リスト」\(P.6-1\)](#)

ホスト名/FQDN で定義したサブスクリバサーバの IP アドレスの変更

ホスト名または FQDN で各サーバを定義している場合に、サブスクリバサーバの IP アドレスを変更するには、ここに示す手順を使用します。DNS サーバは、ネットワーク インフラストラクチャを構成する要素の 1 つです。IM and Presence サーバは、DNS サービスを実行せず、また実行することもできません。

2 つ以上のサブスクリバサーバの IP アドレスを変更する場合は、次の作業を実行することを推奨します。

- a. 一度に 1 つのサーバの IP アドレスを変更します。
- b. パブリッシャサーバも含め、クラスタにある他のすべてのサーバを再起動し、データベース関連の設定ファイルを含むローカル名前解決ファイルを更新します。



注意

2 つ以上のサーバの IP アドレスを同時に変更すると、クラスタ内のローカル名前解決ファイルの同期が失われる可能性があるため、2 つ以上のサーバの IP アドレスを同時に変更しないでください。

はじめる前に

[「作業前のチェックリスト」\(P.1-1\)](#)

手順

ステップ 1 次の操作を実行します。

- a. 新しい IP アドレスを指すようにサブスクリバサーバの DNS レコードを変更します。
- b. 必ず順方向 (A) レコードと逆方向 (PTR) レコードの両方を正しく更新します。
- c. DNS キャッシュをリフレッシュして、レコードが正しく更新されていることを確認します。

ステップ 2 次の作業を実行して、サブスクリバサーバの IP アドレスとデフォルトのゲートウェイ (必要な場合) の IP アドレスを新しいアドレスに変更します。

- a. 新しいデフォルトゲートウェイのアドレスを必要とする別のサブネットにサーバを移動する場合は、CLI コマンド `set network gateway` を入力します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network gateway 10.3.90.2
*** WARNING ***
This will cause the system to temporarily lose network connectivity

Do you want to continue ?
```

Enter "yes" to continue or any other key to abort

- b. **yes** と入力して Enter キーを押します。
- c. サブスクリバサーバの IP アドレスを変更するには、CLI コマンド `set network ip eth0 ip_address netmask gateway` を入力します

このコマンドでは、サーバの新しい IP アドレスを `ip_address` で指定し、サーバの新しいネットワークマスクを `netmask` で指定します。

次の出力が表示されます。

```
admin: set network ip eth0 10.53.57.101 255.255.255.224 10.53.57.1
*** WARNING ***
If there are IP addresses (not hostnames) configured in CallManager Administration
under System -> Servers then you must change the IP address there BEFORE changing it
here or call processing will fail. This will cause the system to restart
=====
Note: To recognize the new IP address all nodes within the cluster will have to be
manually rebooted.
=====
Do you want to continue?
Enter "yes" to continue and restart or any other key to abort
```

- d. **yes** と入力して Enter キーを押します。

ステップ 3 すべてのクラスタ ノードで CLI コマンドの `utils network host` および `show tech network hosts` を使用して、DNS の変更が他のノードに伝搬されていることを確認します。

```
admin:utils network host lg-sub-4
Hostname lg-sub-4 resolves to 14.86.13.11

admin:show tech network hosts
----- show platform network -----

/etc/hosts File:
#This file was generated by the /etc/hosts cluster manager.
#It is automatically updated as nodes are added, changed, removed from the cluster.

127.0.0.1 localhost
14.87.10.10 lg-pub-1.lindermangroup.cisco.com lg-pub-1
14.87.10.11 lg-tftp-1.lindermangroup.cisco.com lg-tftp-1
14.87.10.12 lg-tftp-2.lindermangroup.cisco.com lg-tftp-2
14.87.11.10 lg-sub-1.lindermangroup.cisco.com lg-sub-1
14.87.11.11 lg-sub-3.lindermangroup.cisco.com lg-sub-3
14.86.13.10 lg-sub-2.lindermangroup.cisco.com lg-sub-2
14.86.13.11 lg-sub-4.lindermangroup.cisco.com lg-sub-4
14.87.11.12 lg-sub-5.lindermangroup.cisco.com lg-sub-5
14.87.11.13 lg-sub-7.lindermangroup.cisco.com lg-sub-7
14.86.13.12 lg-tftp-3.lindermangroup.cisco.com lg-tftp-3
14.87.20.20 lg-cups1.heroes.com lg-cups1
14.86.13.13 lg-sub-6.lindermangroup.cisco.com lg-sub-6
admin:
```

ステップ 4 パブリッシャ サーバも含め、クラスタにある他のすべてのサーバを再起動し、データベース関連の設定ファイルを含むローカル名前解決ファイルを更新します。

トラブルシューティングのヒント

IM and Presence サーバのゲートウェイおよび IP アドレスの変更に加えて、スイッチを変更した場合は、サーバが自動的に再起動している間に以下の手順を実行します。実行しないと、起動時に IM and Presence スクリプトがネットワーク接続の確認に失敗する可能性があります。

- 再起動画面を確認する
- 古い IP アドレスに `ping -t` と入力する
- ping に失敗するようになったら、古いスイッチから接続を解除し、新しいスイッチに接続する

関連トピック

- 『*Disaster Recovery System Guide*』
- 『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』

次の作業

「変更後の作業リスト」(P.6-1)